

大雨時の工事中の施設の活用について

浸水被害を軽減するため
大雨時には工事中の施設を活用します
（6月中旬から予定）

- 池町川が増水した場合は、右岸側調節池（地下調節池築造工事3工区）に貯留します。
- 最大で約12,000m³の貯留が可能です。

池町川の水位が上がったら川の水を引込みます。

貯留容量：約24,000m³

道路（けやき通り）

約15m

約12m

約9m

約9m

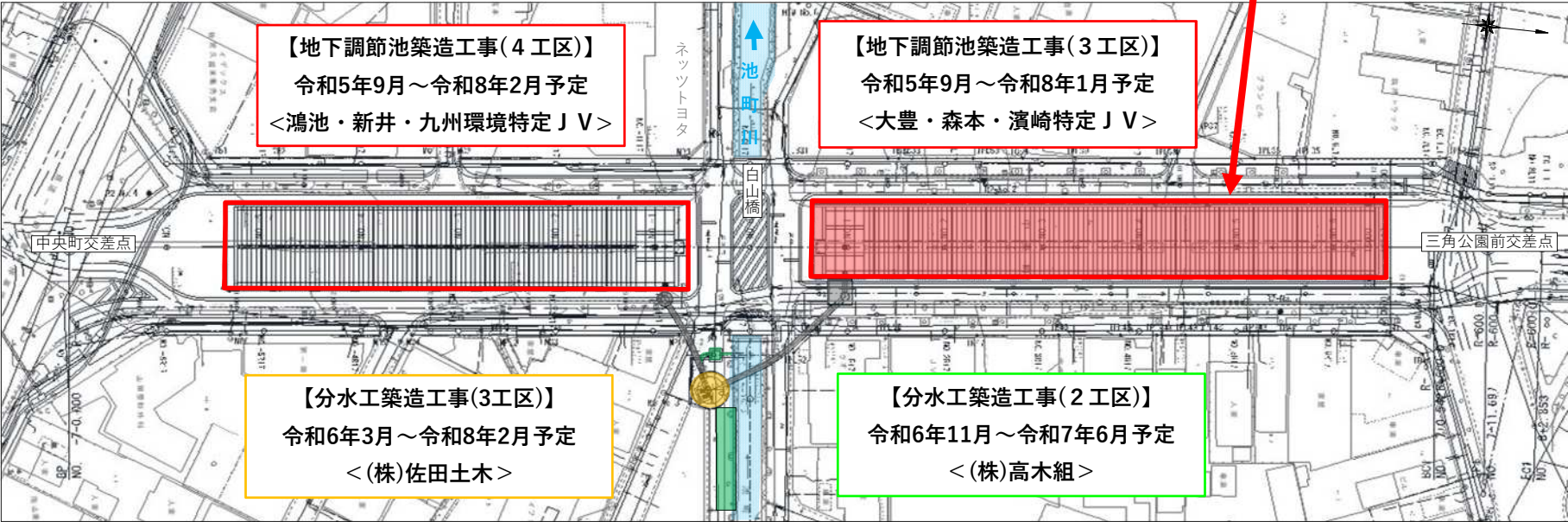
約90m

約113m

左岸

右岸

池町川の水位が下がったらたまった水をポンプで川に戻します。



6月の工事予定内容

○ 調節池部材（頂版・上部材）の据付工、分水工 本体工（埋め戻しなど）等を実施します。

工事箇所	作業内容	時期			工事業者	備考
		上旬	中旬	下旬		
地下調節池（3工区）	調節池部材 据付工（頂版）				大豊・森本・濱崎特定JV	大型トラック等の出入りがあります。（最大5台/日）
地下調節池（4工区）	調節池部材 据付工等（上部材）				鴻池・新井・九州環境特定JV	大型車（生ゴミ車等）の出入りがあります。（最大15台/日）
分水工（2工区）	分水工 本体工 埋め戻し等				（株）高木組	大型車（ダンプ等）の出入りがあります。（最大4台/日）

関連情報は
こちら

5月の工事進捗

池町川

施工状況（分水工2工区）

施工状況（地下調節池3工区）

頂版部材

施工中

施工済

調節池整備イメージ図（3工区）